



速報新聞

キマグレ

発行所
彦根東高等学校

新聞部

彦根市金亀町4番7号

16 永井結登君

赤鬼の春 45

外野手の永井結登君(25)は自身初であった甲子園での対戦を振り返り「夏の甲子園のときはスタンドにいて、自分もあの場所に立ちたいと思っていた。それが叶ってよかった」と笑顔を浮かべた。また試合に挑んだときの心境を「朝まで試合に出られるかわからなかったの

で、試合に出られるとわかってうれしかった。自分の役割は次の打者である宇野につなげることだと思っていたので、それができてよかった」と明かした。さらに「最初は緊張していたが、2回にレフトフライを捕って安心した。その後は自分らしくできたと思う」と試合中の心境を話した。永井君は本校の応援について「試合開始直前の挨拶のときにアルプスがすごいと思った。真っ赤に染まっている、たくさんの人がいるという経験ができるのは甲子園だけなのでうれしかった。鳥肌が立った」とコメントした。最後に「次は自分が出るかほかの人が出るかわからな

8 野寄重太君

中堅手の野寄重太君(23)は「勝てたことはい。相手は強かったけど、逃げられてよかった。ピンチを最小限の失点で逃げ切れたと思う。高内などの長打が得点につながった。自分が打てなかったのが悔しい。守備では声をかけて守れたのがよかった」と試合の感想を述べた。

9 宇野圭一郎君

右翼手の宇野圭一郎君(26)は試合について「8、9回に点を入れる、後半勝負という自分たちの勝ち方で勝利することができた。みんなから期待されていたけれどヒットが出せず、エラーもしたので、迷惑をかけたと思う。相手に逆転されるなど苦しい状況でも笑顔で楽しんでいった。それが自分たちの得点につながったと思う」と振り返った。また次の試合に向けて「この試合では迷惑をかけたので、次はバッティングで貢献したい」と目標を掲げた。

7 岡上士明君

左翼手の岡上士明君(24)は初めての甲子園での対戦を「お客さんが多くて活気がすごかった。応援がすごくて、気持ち盛り上がった」と振り返った。試合に臨んだときの心境を「慶応高校は強いと聞いていた。ミスは出ると思っていたが、それをみんながカバーできれば一勝を取ることができると思っていた」と打ち明けた。自身のプレーについては「自分は最後の守備だけだったが、楽しかった。意外と冷静に集中できた」と話した。さらに本校の応援について「すごいと思った。声がそろっていて、後押しされて点も入った。感謝しかない」と微笑んだ。最後に次の試合に向けて「先輩が負けている相手なので、次は勝ちたい」と語気を強めた。

選手紹介

初戦を終へ

3